

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1)地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じ、地域の未来を創っていく生徒の育成
 (2)社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付け、持続可能な社会の実現に努める生徒の育成
 (3)国際社会に関心を向け、多様な価値観や考え方、多面的な視点を身に付けた生徒の育成

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びについて、研修で積極的にノウハウを吸収し概ね達成することができている。基礎学力が不足している生徒には課題の添削などを繰り返し、効果は上がっている。 D X加速化推進事業の採択もあり、探究活動を委員会が企画し、学校全体で取り組めるようになった。学校視察等でICT活用や探究型授業を参考にできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習への取り組みと理解が結びつくようになると良い。 勉強の仕方が分からなくて成果が薄いのかもかもしれない。 議員との意見交換であったように、放課後に生徒が集う場所があると良い。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善等が教科内で留まらず、学校全体の取り組みにしていく必要がある。特にタブレットの活用が進んでいないため、質の高い校内研修の実施が必要。D X事業で購入した機器についても、各教科で活用できるよう魅力ある授業づくりに努める。 不登校傾向の生徒に、オンライン授業などの対応を行った。別室で授業を受ける生徒への仕組みや対応の共通認識が必要。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 少人数のため一人ひとりに目が届きやすく、生徒情報の共有はできている。 身だしなみや礼儀、マナーの指導には課題があり、学年団問わず全教職員で長期的に対応する必要がある。 教育相談は、多様な生徒が入学するようになり、今後さらに充実させる必要があるが、教員の手が回りきらない面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣いを意識したり意見を述べるなどの機会を増やすと良い。 高校生と話す学校は楽しそう。時代に応じた校則などで生徒も納得してルールを守ってほしい。 集団心理は仕方ないが、校外ではきちんとできている。生徒は良し悪しを理解している。指導し続けることが大切。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の指導については、教員個人の力に頼っている部分が多いため、組織立った指導の確立が必要。本校生徒は、穏やかな生徒が多いが、社会性に欠ける部分があることから、中学校との違いを明確にし、学校にきちんと登校できる施策が必要。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 入試制度や生徒の質を考え、もう少し積極的な指導が必要。段階に応じた指導はできているが、進路探究としての取り組みも必要。 個別面談は担任主導で適切に行われている。面談記録は全体で共有する必要がある。 模試や学習系アプリの有効活用が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期に進路が決定し、安心して新生活に向けた活動ができたのは良い。 1. 2年生の進路希望はD X事業などで変化が見られるようになると良い。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導のシステム、指導内容、今後の実施計画、生徒に関しての動きを可視化して全体で共有する。 学力上位層や上級学校への進学希望者の指導が手厚くなるよう検討。 	
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己管理意識が低く、担任や養護教諭の負担が大きかった。カウンセラーの積極的な利用が少ない。悩みを抱える生徒に寄り添いすぎて、全体とのバランスを欠いている。 生徒観察や保健室との連携はツール利用によって充実した。 一日防災学校は外部と連携を図り、充実した内容となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向の生徒が多くなっているようだ。心のケアを大事にした指導をしてほしい。 多様性を認めて他者を思いやる社会人になれるよう指導をお願いします。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 不登校生徒等の対応のため医療関係機関や子ども支援相談員、スクールカウンセラー他、学校外との連携を徹底して推し進めるとともに、生徒・保護者の心のケアと寄り添った関わりを進めていく。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 少子化が著しく、入学生の確保が課題となってくる。魅力のある学校づくりにより、選ばれる学校になってほしい。 D X事業をきっかけとして、探究活動の充実についてお願いしたい。 一人一人の子どもにあった進路実現を目指し、特に地域に貢献する人材を育成してほしい。 	

公表方法

ホームページやc-learningにおける公表、PTA総会における保護者への公表など